



折り紙ってすごい！！



折り紙でピカチュウやモンスターボールも作れるんですよ!!!!

子供たちの折り紙への興味はすごいです！折り紙でつくったものを机に置いておくと、教室に入ってきたときに「Legal」（レガウ、カッコいいというような意味）と言って、目を輝かせます。今まで思ったことはなかったですが、たしかに1枚の平面の薄い紙が、いろんな形になったり、立体になったりすることは、とてもすごいことですよ！！

中学校に勤務していたときには、数年に一回、修学旅行での広島訪問に向け、千羽鶴を折ることぐらいしかありませんでした。自分が子供のころにも、手裏剣ややっこさんを作った覚えがありますが、正直あまり得意な分野ではありません。ところが、いざ折り始めてみると、いろんな折り方を覚えていたり、初めてのものも折り方を見れば、どうにか折ることができたり、自分でも驚きました。いろんな人が教えてくれてたんだと、感謝の気持ちが出てきました。

折り紙は知育教育に良いということを知ることがあります。集中力や思考力、空間認知力を向上させる効果があるそうです。日本文化ってすごいなあとしみじみと思います。そして、もうひとつすごいことは、「折って」、「次は」、「開いて」という私の折り方の指示の言葉を子供たちがマネして復唱して、言葉を覚えていることです。子供たちの好奇心は本当にすごいです！折り紙は、日本語を学びながら、日本文化にも触れることのできる最強の教材です！！



ブラジルといえば、カーニバル！



ブラジルといえば、やはり**カーニバル**です！カーニバル期間は学校も休みになるため、休みを利用して、カーニバルに参加してきました。この時期は、大小様々なカーニバルがブラジル国内中の各地で行われています。1チーム1000人以上の人たちが踊りや楽器演奏をしながら会場を進んでいきます。この日のために1年間練習しているそうです。観客も大音量で歌ったり、踊ったりと熱気がすごいです。さすが、カーニバルの国という凄みを感じました。また、会場で観るだけではなく、道路で踊るようなところもあります。

ブラジルはやはり「**熱い国**」です!!

編集後記



日本では、3月は別れの季節ですね。私も昨年度担任していた生徒たちが、この3月に卒業を迎えました。2年間一緒に過ごした日々を思い出しながら、学校のホームページを見返しました。富山にいらっしゃる先生方から、立派に爽やかに卒業していったことを聞き、とても嬉しくなりました。また、テレビのニュースの取材があったということで、卒業式で泣いている姿、さらに凛々しくなった顔を見ることができました。思いがけない、素晴らしいプレゼントに感動しました。**がんばれ、卒業生!!応援しています!!**

こちらは1～7月、8月～12月の二学期制のため、3月は別れの時期ではありませんが、同じくJICAから派遣されていた第1アリアンサ日本語学校の先生が3月に日本に帰国されました。そして、第3アリアンサでの私の活動も9ヶ月が経ち、残り1年となりました。1年は本当にあっという間です。今、自分がどれだけのことができているのかわかりませんが、あと1年、「ここでしかできないこと」を考えて、全力で頑張ります！